

ご取材のお願い

平成24年7月23日
社会福祉法人陸前高田市保育協会
公益財団法人ヤマト福祉財団

陸前高田市竹駒保育園再建事業に伴う地鎮祭の開催について

公益財団法人ヤマト福祉財団（本部：東京都中央区、理事長：有富慶二、以下：ヤマト福祉財団）「東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金※」の第3次助成先の一つである社会福祉法人陸前高田市保育協会（以下「陸前高田市保育協会」と略記）は、平成25年1月に完成を目指す陸前高田市竹駒保育園の地鎮祭を7月30日（月）午前11時より執り行います。

岩手県陸前高田市には、陸前高田市保育協会に属する五つの保育園がありましたが、東日本大震災で、その中の竹駒保育園と広田保育園の二つの施設が甚大な被害を受けました。海から6キロメートルも離れた場所にある竹駒保育園は、川を逆流した津波により建物が大規模半壊したため使用することができなくなり、震災後の一年間は系列の保育園である定員30名の下矢作保育園に55名の園児を受け入れ、保育室が足りないため職員室を代用するなどしてしのいできました。4月からは仮設園舎に移り40名の園児を受け入れ、狭い園舎と園庭を有効利用しながら保育を行っています。

未来の陸前高田市を担う子どもたちのため、また地域で働く父母のためにも、保育園を安全な高台に建設し、安心して保育ができる環境を整えることが急務です。しかし、高台移転には原形復旧が原則の国の補助はつきませんでした。

ヤマト福祉財団では、復興に向けた地域就労環境を一刻も早く良い状態にすることが必要と考え、昨年の12月に竹駒保育園を安全な高台に再建する費用、2億3400万円の助成を決定致しました。



（被災した竹駒保育園の門柱）



（津波が突き抜けた内部）



（がれきが押し寄せた園舎、園庭）



（造成中の新施設建設予定地）

東北の復興は途上にありますが、震災による被害を乗り越え、いち早く復旧・復興に取り組む本式典を何卒ご取材賜りますよう、お願い申し上げます。

本件に関する報道関係の皆様方からのお問い合わせは下記までお願いいたします。

社会福祉法人陸前高田市保育協会 担当：熊谷 （0192-22-9288）

公益財団法人 ヤマト福祉財団 担当：早川・渡辺（03-3248-0691）

記

1. 日時

平成24年7月30日（月） 午前11時00分より

2. 場所

岩手県陸前高田市竹駒町字館13番地1

旧竹駒保育園の前の通りを400メートル登り右側造成地。（50メートル先に竹駒神社鳥居があります。）

3. 主な出席者（敬称略）

（1）陸前高田市

市長 戸羽 太

（2）陸前高田市

民生部長 菅野 直人

（3）公益財団法人 ヤマト福祉財団

理事長 有富 慶二

（4）社会福祉法人 陸前高田市保育協会

理事長 藤井 喜八郎

（5）社会福祉法人 陸前高田市保育協会

竹駒保育園長 村上 和加恵

4. 施設概要

（新施設）木造平屋建て 建物：761㎡、敷地：4061㎡

園児：70人定員、職員：18人

（旧施設）木造平屋建て 建物：460㎡、敷地：2380㎡

園児：45人定員 職員：13人

※ 公益財団法人ヤマト福祉財団「東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金」は、東日本大震災で被災された地域の生活基盤の復興や水産業・農業の再生を支援することを目的に創設されました。6月30日をもって募金と助成の応募は終了させていただきました。募金につきましては、142億円3,608万1360万円となったヤマトグループの「宅急便1個につき10円の寄付」をはじめ、広く一般から募金をたまわり、総額142億7426万4524円となりました。助成につきましては、見える・速い・効果の高い支援を基本方針に国の補助のつきにくい事業や単なる資金提供だけでなく新しい復興モデルを育てるために役立てていくことを目指して、第5次までに助成対象31件に対し、総額142億6,600万円の助成を行っています。詳細につきましては、ヤマト福祉財団のホームページ（<http://www.yamato-fukushi.jp/>）をご参照ください。